

教 育 長 様

研究コース	
B グループ研究B	
校園コード（代表者校園の市費コード）	
671489	
選定番号	220

代表者 校園名： 大阪市立小路小学校
 校園長名： 伊藤 浩史
 電 話： 06-6752-0061
 事務職員名： 園田 香
 申請者 校園名： 大阪市立小路小学校
 職名・名前： 校長 伊藤 浩史
 電 話： 06-6752-0061

令和4年度 「がんばる先生支援」研究支援 報告書

◇令和4年度「がんばる先生支援」研究支援について、次のとおり報告します。

1	研究コース	コース名	B グループ研究B	研究年数	新規研究（1年目）
2	研究テーマ		持続可能な学習活動による「主体的・対話的で深い学び」の創造 ～一人一台端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現～		
3	研究目的		GIGAスクール構想の前倒しによる一人一台端末の導入により、教育現場ではICT環境の整備が急速に進められた。本研究部では、この一人一台端末を効果的に活用した授業実践を今年度も継続して取り組む。その際、学校や家庭などで時間的・空間的な制約にとらわれることなく、児童の学びを止めることのない学習活動の展開を目指し、多様な児童を一人も取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、他社との多様な学び合いや時間的・空間的な制約を緩和した交流をいかした「協働的な学び」を一体的に充実させることで、学習の基盤となる資質・能力を育成し、さらに「主体的・対話的で深い学び」の授業改善を進めることを目指し、研究活動に取り組む。		
4	取り組んだ 研究内容		<p>いつ、何のために、どのようなことを実施したのかを具体的に記載してください。（MSゴシック 9.5pt イント）</p> <p>2本の授業研究を行い、うち1本は全市公開を行った。また、2月にはその成果を総合研究発表会で発表した。</p> <p>【公開授業】 12月9日（金）、東淀川区大桐小学校で公開授業を開催した。 5年生の総合的な学習において、「SDGsの達成に向けて、わたしたちにできることを考えよう。」という学習を行った。その際、ICT活用、とりわけ【1人1台端末の効果的な活用】を目指した授業を行った。 学習の際は、NHK for Schoolの動画視聴やGoogle Jamboardを使った情報の収集と整理を活動の柱に据えて、「個別最適化した学び」と「協働的な学び」を両立した学習に取り組んだ。</p> <p>【研究の成果の発表】 2月3日（金）、小路小学校で研究の成果を発表した。12月9日の公開授業に加えて、11月25日（金）に阿倍野小学校で行った1年生 生活科の実践「たのしい あき いっぱい」についても報告を行った。また、園田学園女子大学 堀田博史先生を指導講評にお招きし、1人1台端末活用の現状と今後の方向性について、ご指導をいただいた。 この発表会には約100名以上の参加があり、研究の成果を多くの参加者と共有することができた。</p>		

5	研究発表等の日程・場所・参加者数	研究発表等を実施した日・場所・参加者数を記載してください。									
		日程	令和5年2月3日	参加者数	約119名						
		場所	小路小学校								
		備考									
		<p>大阪市教育振興基本計画に示されている、<u>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</u>および<u>教員の資質や指導力の向上</u>について、申請書に記載した検証方法から得られた結果と、それらからの結果に基づいた考察を、具体的に記載してください。</p> <p>【見込まれる成果1】 大阪市のICT機器と児童の状態に応じた「情報活用能力到達目標一覧表」の改訂</p>									
		<p>《検証方法》 情報活用能力チェックリスト（スキルチェック表）を用い、授業に学年に応じた情報活用能力到達目標に達している児童の割合を80%以上にする。</p> <p>〔検証結果と考察〕 概ね目標としていた内容を達成できたが、「自分の考えを話すときに、聞く人とのアイコンタクトを意識することができる」の項目のみ、64%だった。その他は目標値を上回っており、発表する児童が聞き手を意識した発表をできるようにするところに、今後は重点を置く必要を感じている。</p>									
		<p>【見込まれる成果2】 ○大阪市立小学校に配置されているICT機器を効果的に活用することによって情報を主体的に収集、判断、処理、発信を行うことができるようになる。</p>									
6	成果・課題	<p>《検証方法》 児童への授業後のアンケートで、「タブレットを使い、みんなに伝えたことを、正確に伝えることができるようになりましたか？」の問に、肯定的に答える児童の割合を75%以上にする。</p> <p>〔検証結果と考察〕 肯定的な回答が、目標値の75%を5%以上上回り、目標値は達成できた。しかしながら、タブレットで使えるソフトウェアの習熟度は向上しているものの、肝心の発表の内容についてはまだまだ改善の必要性を感じており、今後も継続して指導に取り組むとともに、児童により観点を明示していく必要を感じている。</p>									
		<p>【見込まれる成果3】 適切な「パフォーマンス課題」を設定することで、児童の主体的な学びへの意欲を向上させる。</p>									
		<p>《検証方法》 児童への授業後のアンケートで、「みんなに伝えたことを、目的をもって、正確に伝えることができるようになりましたか？」の問に、肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。</p>									
		<p>〔検証結果と考察〕</p>									

研究コース

B グループ研究B

選定番号

220

代表校園

大阪市立小路小学校

校園長名

伊藤 浩史

	<p>【見込まれる成果4】 放送・視聴覚教育大会において、実践報告を行い、大阪市の取り組みを全国に発信する。</p> <p>《検証方法》 実践交流の分科会において、情報活用能力到達目標一覧表を提示し、参加者のアンケートでその一覧表が「役に立つ」「どちらかといえば役に立つ」と答える割合を75%以上にする。</p> <p>〔検証結果と考察〕 放送・視聴覚教育全国大会において、研究の成果を発表した。また、総合研究発表会の場でも、この2年間の研究の成果について発表した。発表会実施後のアンケートでは、95%の参加者が肯定的な回答をしており、当初の予想を大幅に上回る成果を得られた。</p>
6 成果・課題	<p>【見込まれる成果5】</p> <p>《検証方法》</p> <p>〔検証結果と考察〕</p> <p>【研究全体を通した成果と課題】 具体的に記載してください。</p> <p>《代表校園長の総評》</p>

令和 5 年 2 月 24 日

教 育 長 様

研究コース	
B グループ研究B	
校園コード（代表者校園の市費コード）	
671489	
選定番号	220

代表者 校園名： 大阪市立小路小学校
 校園長名： 伊藤 浩史
 電 話： 06-6752-0061
 事務職員名： 園田 香
 申請者 校園名： 大阪市立小路小学校
 職名・名前： 校長 伊藤 浩史
 電 話： 06-6752-0061

令和 4 年度 「がんばる先生支援」研究支援 経費執行使途報告書

◇ 「がんばる先生支援」として、経費を次のとおり報告します。

研究テーマ	持続可能な学習活動による「主体的・対話的で深い学び」の創造 ～一人一台端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現～		
-------	---	--	--

費 目	金 額	備 考
8 旅費	5 普通旅費	
教育センターでの経費執行	計	①
7 報償費	1 報償金	42,780
10 需用費	1 消耗品費	257,015
	4 印刷製本費	198,000
11 役務費	1 通信運搬費	
	4 手数料	
	5 筆耕翻訳料	
12 委託料		
13 使用料及賃借料	1 使用料	
17 備品購入費	2 校用器具費	
	3 図書購入費	
18 負担金、補助金及交付金	5 会費	
学校での経費執行	計	497,795 ②
合 計	497,795	① + ②

研究活動にあたって、どのような目的で、どのような物品を購入したのか、主なものを記述すること。

また、経費執行における申請時からの主な変更点を記述すること。

一人一台タブレットの効果的な活用方法を研究し、その成果を研究発表会で発表するため、研究に必要な教材・教具にあたる物品と、研究発表会の運営に必要な物品を購入。また、研究が深まるよう、講師先生をお招きした。

【授業実践に活用するもの】

ヘッドセット 1セット(90個)・スタイルスペン13本・mBot(ロボット教材)4セット

【研究発表に活用するもの】

HDMIケーブル・ハンディカメラ(オンライン中継用)

内訳明細

(R04 様式 5-2)

研究コース B グループ研究B

代表校園 大阪市立小路小学校

代表校校園コード

671489

費目	内 容	数量	単 価	金 額	実施月
8 - 5 普通旅費					
	費目小計				
	公開授業・研究発表にかかる講師謝礼	1	42,780	42,780	12・2
7 - 1 報償金					
	費目小計			42,780	
10 - 1 消耗品費	ハンディカメラ	1	49,500	49,500	12・2
	HDMIケーブル (15m)	1	26,400	26,400	12
	ヘッドセット	1	89,001	89,001	2
	スタイルスペン	13	2,970	38,610	2
	mBotアカデミック版	4	13,376	53,504	2
	費目小計			257,015	
10 - 4 印刷製本費	研究紀要印刷 (46ページ、800冊)	1	198,000	198,000	1
	費目小計			198,000	
11 - 1 通信運搬費					
	費目小計				
11 - 4 手数料					
	費目小計				
11 - 5 筆耕翻訳料					
	費目小計				
12 委託料					
	費目小計				
13 - 1 使用料					
	費目小計				
17 - 2 校用器具費					
	費目小計				
17 - 3 図書購入費					
	費目小計				
18 - 5 会費					
	費目小計				
合 計				497,795	